

単元名 「聞きだせ！中学生のリアルな日常！」（第2学年 A 話すこと・聞くこと）

■本事例のポイント

- 相手意識を明確にした言語活動を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう単元をデザインした。
- 生徒が自らの学習を振り返ることで自己調整を行い、学び方を選択・決定できる環境を整えた。

■単元の目標

インタビューをする中で、相手の論理の展開などに注目して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)工

■単元の指導計画（4時間）

一次（1時間）

「インタビューの準備をする」

- 小学6年生とその保護者が来るオープンスクールで放映する動画作成をすることを伝え、学習計画を立てる。

二次（2時間）

「インタビュー動画を撮影する」

- 各班の計画でインタビュー動画を撮影し、動画を振り返りながら、よい点や改善点を考える。

三次（1時間）

「動画の再撮影や編集をする」

- 必要に応じて、再度撮影したり、編集をしたりして、インタビュー動画を完成させる。

自 聞きだせ！中学生のリアルな日常！	
期限なし	12 提出済み 13 割り当て済み
来年度の入学生に■のリアルを届けよう。仲間にインタビューして、中学校のイメージを持ってもらおう。	
先生のつくったモデル動画とそのメモを置いておきます。 ※おまけロングインタビューは、校長先生にインタビューするうちに知ったことをもとにインタビューしてみました。 「中学校で一番印象に残っていること」を聞いたら、「人生で後悔していることがある」とおっしゃっていたので、それについて聞きました。	

生徒が言語活動の目的や相手を意識することで、主体的に学習に取り組むことをねらいます。

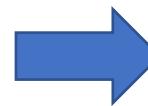


■本時の概要

目標 動画を撮影して、よりよいインタビューについて考えよう。



インタビューの概要を確認して、撮影を行う。



動画の具体的な場面を示しながら、振り返りを行う。

■学習調整をしている子供の姿

【生徒の振り返りの様子から】



最後は「バスケ部に来てください」とまとめたけれど、バスケ部に興味ない人もいるのではないか？



では、「ぜひ、たくさんの部活の見学に来てください」に変更しよう。



そうすると、質問内容も「バスケ部の活動内容」より「部活全般の楽しさ」や「やりがい」に改善したほうがいいね。



Point!

生徒の振り返りのやりとりや記述（_____線部）からは、インタビューの目的や動画の視聴者を意識したインタビューの内容となるように、改善策を具体的に検討している姿が見られた。

また、生徒が単元の見通しをもっているため、次の時間にどのようなことをすべきか、自分で考える姿も見られた。

【生徒の振り返りの記述から】

【Aさんの振り返り】

動画の目的

小学生に中学校の部活動の魅力を知ってもらうこと。

反省①

質問の回答に対する返事の仕方にもっと自分の考え方や実際にあったことを入れればよかったし、返事が曖昧になりすぎた。だからある程度返事を想定しておき、回答に対する処理をもっと早くしたい。

反省②

最後のまとめがなかったこと。だから、いくつかの質問に対してまとめられるようにする。

【Bさんの振り返り】

反省点は、相づちの仕方や質問内容、時間、最後の締め方です。話し手の言葉に助けられたことが多く、私は質問者なので話し手を導けるように流れを想定して質問し、目的が達成できるようにまとめたいです。

最初の始まり方や質問内容はけっこうよかったです。次回は質問した後のコメントも意識していきたいです。

■指導と評価の工夫

①モデル動画の提示

* モデルとなる動画を作成し提示することで、生徒が言語活動の見通しをもつことができる。



教師が実際にインタビューを行うことで、生徒のつまずきもつかむことができる。

②具体的な場面を取り上げた振り返り

* 動画の具体的な場面を示しながら、よかつたところや改善点を考えることで、印象による抽象的な振り返りにならず、学習調整につなげることができる。

③形成的な評価場面の設定

* 一度目の動画を指導者にも共有し、リアルタイムで確認し、必要なフィードバックを行うことで、資質・能力の育成を図ることができる。

なお、単元の観点別評価は修正した動画等を踏まえ、評価する。

■成果（○）と課題（▲）

○言語活動が生徒の生活体験に基づいていたので、主体的に学習に取り組む姿が多く見られた。

▲動画を改善をする中で、よい点が失われてしまうことがあった。よい点と課題点を踏まえて、改善するか、しないかを判断できる力を付けさせたい。